

# 提 言 書

高知県内の各地域では、地球温暖化の影響により頻発化・激甚化する自然災害や、発生切迫度が高まる南海トラフ地震への備えを高めるとともに、人流・物流の円滑な移動を確保するため、通常予算に加え、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」予算も活用し、高規格道路のミッシングリンクの解消や法面対策、老朽化対策など、道路ネットワークの機能強化を推進しています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響から、徐々に回復しつつある地域経済を復興させるため、観光の再生や県産食材の消費回復などに全力で取り組んでいます。

地域の取り組みと道路整備によってもたらされる効果を早期に発揮させ、先々にわたり確実なものとするとともに、国土強靱化の加速化等による安全・安心の確保、コロナ禍からの回復に向けた地域経済の復興、持続可能な分散型の国づくり、これらを早期に実現させるため、以下の3項目を提言します。

## 一、四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化

・四国横断自動車道（宿毛和田～宿毛新港）、阿南安芸自動車道（奈半利～安田）

一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策については、これまでのペースを緩めることなく、計画的に事業を推進するとともに、生産性向上の観点からも、公共事業を含む令和5年度補正予算について、必要な予算・財源の確保を図ること

また、5か年加速化対策完了後においても、切れ目なく、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めるため、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること

一、激甚化・頻発化する災害に備えるとともに、人流・物流の円滑な移動を確保するため、高規格道路のミッシングリンクの早期解消、暫定2車線区間の早期4車線化、代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワーク化、重要物流道路の整備などを進め、開通予定時期の早期公表を行うとともに、国土をつなぐ幹線道路ネットワークを早期に構築すること

これらの項目を踏まえ、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設等により、国・地方を合わせた令和5年度補正予算及び令和6年度道路関係予算について、必要な予算の確保を図るよう、お願いします。

令和5年11月9日

高知県道路利用者会議 会長 楠瀬 賢一

道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会 会長 池田 洋光

地方創生を実現するためには、地方の道路整備は不可欠です。  
私達は、整備された道路を活用しストック効果をより拡大することで、経済の活性化につなげます。